

● 周辺地域との交流・連携と国際交流拠点の機能強化

○ 広域的な交流促進及び世界に開かれた自立的な地域の形成を図るため、国内航空ネットワーク等の充実及び港湾等において国際旅客対応機能の強化など地域の国際化のための活用を目指す。

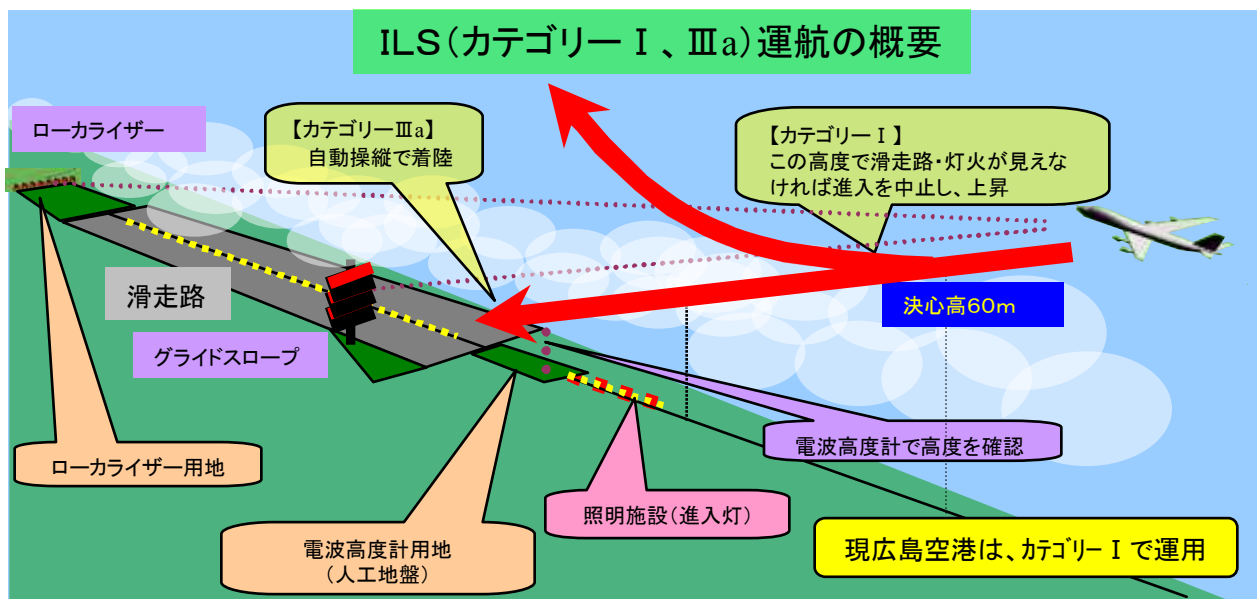
・ 既存空港の質的充実等

広島空港ILS高カテゴリー化整備事業

事業促進

広島空港は、東京便を中心に中四国地方最多の330万人の旅客数を有する空港です。本空港では、視界不良（霧・雲）で着陸できず欠航もしくは目的地変更、遅延が発生しており、利用者から欠航の少ない空港への改善を求められています。

このため、視界不良による欠航を減少させるILS（計器着陸装置）の高カテゴリー化（CATⅢa化）を進めています。平成18年度は、計器着陸装置の土台となる電波高度計用地（人工地盤）が完成する予定です。



ローライザー(LLZ): 左右の誘導電波を発信
グライドスロープ(GS): 上下の誘導電波を発信



電波高度計用地(人工地盤)完成イメージ

期待される整備効果

視界が悪い状況での運航が概ね可能となり、欠航等が大幅に減少し、航空輸送の信頼性(定時性)が拡大します。